自己血採血を安全に行うために問診票を活用しています 輸血部

自己血採血とは

手術時に必要な輸血を前もって、患者さんご自身から採血し、 患者さんご自身の血液を輸血に用いるための採血

1. 血液バッグ内の細菌汚染をしない

自己血採血の原則

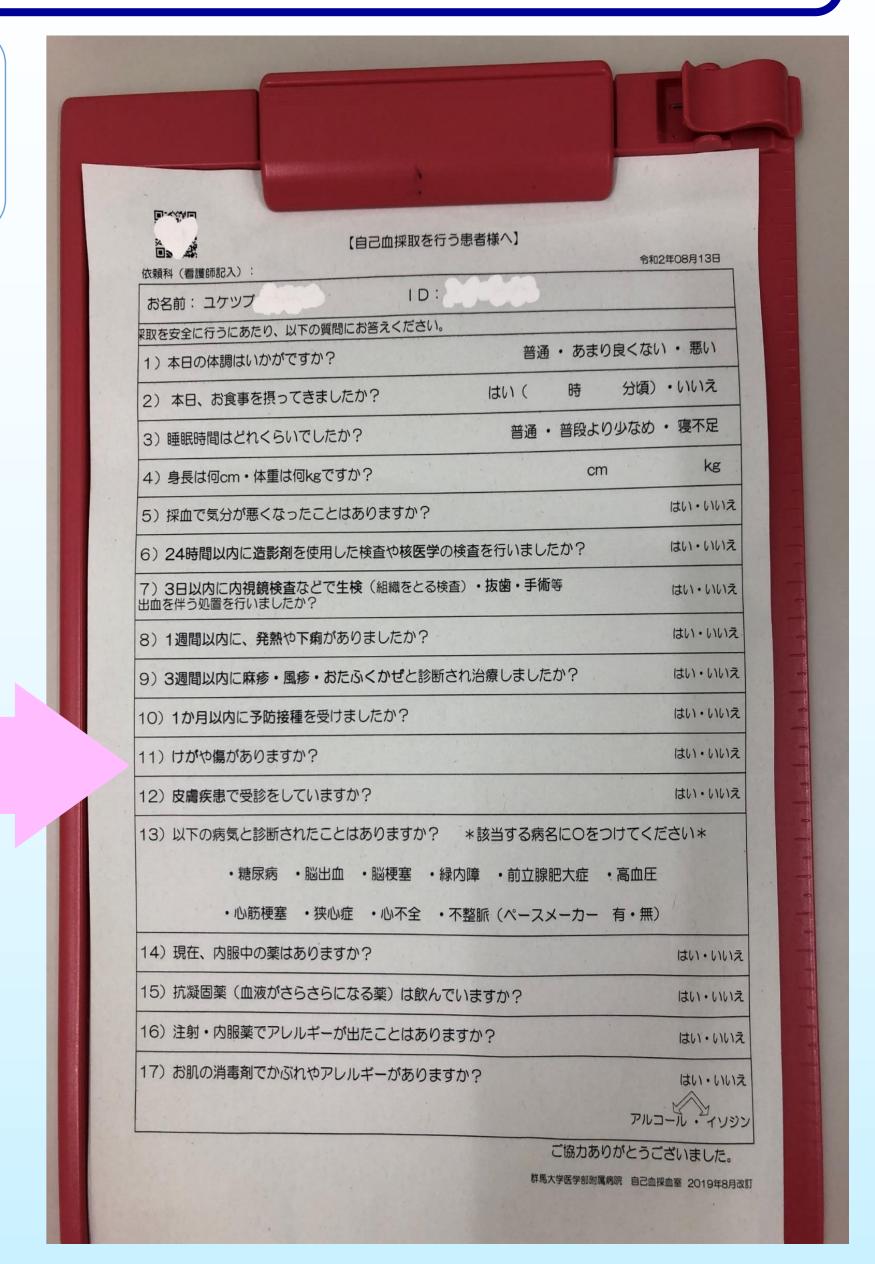
2. 血管迷走神経反応 (VVR) 等の副作用を起こさない (VVRとは血圧が低下したり気分が悪くなること)

自己血採血の実施

実際の問診表はこちら

問診票記入・内容の確認→バイタルサインのチェック →医師の診察→自己血採血→点滴→終了

問診からわかったことと取り組み



チェックが入った項目	人	予測されるリスク	対応していること
体調不良	2		穿刺針を細くしゆっくり脱血する。
食事を摂取していない	18		注意深く観察する。 食事を摂る・カロリーのある水分を500ml以上摂取する。
睡眠不足	69	VVR·脱血不良	不安に対して安心し、リラックスできるような声かけをする。採血中は足を動かす。
採血時気分不快を感じたことがある	10		患者さん主体で話しができるような会話をする。 テレビをつけて気を紛らわす。
72時間以内に出血を伴う処置をした	2		処置後72時間経過していなければ自己血採血延期。
7日以内に発熱・下痢になった	20		感染の兆候がある場合、自己血採血延期。 滲出のない創傷は問題ない。
21日以内に麻疹・風疹・流行性耳下腺炎になった	O		湿疹がある場合は患部を避けて穿刺する。
創傷がある	12	血液バッグへの細菌汚染	
皮膚疾患がある	23		
30日以内に予防接種をした	17	血液バッグへのワクチン混入 ワクチンの副反応出現	不活化ワクチンは24時間以上経過で問題ない。
24時間以内に造影剤検査をした	3	血液バッグへの造影剤の混入	採血延期。
薬剤内服中	284	抗凝固剤の内服の可能性	抗凝固剤がなければ問題ない。
抗凝固剤を内服している	44	止血不良•血腫	慎重な穿刺。抜針時の確実な圧迫止血。
薬剤アレルギーがある	55	消毒剤によるアレルギー反応	皮膚消毒剤の選択。
既往疾患がある(糖尿病・高血圧心疾患など)	237	禁忌疾患の可能性	大動脈弁狭窄症・不安定狭心症の場合、自己血採血禁止。
☆2019.7.1~2020.6.30、365人を集計			

なと019.1.1.~2020.6.30. 365人と集計

出血を伴う処置や感染が疑われる患者さん からは自己血採血しないようにしています。

防ぐために

良く水を飲んで、リラックスして、 自己血採血室にお越しいただきたいです。

良く眠って、良く食べて、

私たちはみなさんが安心して 自己血採血が実施できるよう この取り組みを続けていきたいと 思います。



2020年9月

